



平成 19 年 4 月 3 日

各 位

株式会社ブロッコリー  
代表取締役社長 吉田真市  
(JASDAQ・コード2706)  
問合せ先 取締役財務経理部長 是枝由美子  
電話 03-5946-2824

## 平成 19 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年2月期(平成18年3月1日～平成19年2月28日)の業績予想について、平成18年10月19日付当社「平成19年2月期中間決算短信(連結)」及び同日付当社「平成19年2月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成 19 年 2 月期通期業績予想の修正等

##### 【連結】

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	9,290	92	△140
今回修正 (B)	9,331	156	72
増減額 (B - A)	41	64	212
増 減 率	0.4%	69.6%	—
前期実績(平成18年2月期)	8,016	△630	△1,479

##### 【単体】

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	9,103	89	△137
今回修正 (B)	9,154	158	70
増減額 (B - A)	51	69	207
増 減 率	0.6%	77.5%	—
前期実績(平成18年2月期)	7,810	△663	△1,479

## 2. 修正理由

売上高は、カードゲームを中心とする自社製品が好調で、国内卸売部門が計画を上回り推移しました。また、ロイヤリティ売上及び請負売上も計画を上回ったこと、店舗売上も堅調であったことにより、前回予想比 51 百万円（連結では 41 百万円）増加となる見込みであります。

経常利益は、増収効果に加えて利益率の高い自社製品、ロイヤリティ売上、請負売上の比率が高まったこと、在庫の効率化が進んだことで利益率が改善し、前回予想を 69 百万円（連結では 64 百万円）上回る見通しであります。

当期純利益につきましても、上記要因に加え、投資有価証券売却益 113 百万円等により、前回予想比 207 百万円（連結では 212 百万円）増加となり最終黒字化する見込みであります。

なお、この度の修正につきましては、主に単体の業績好転によるものであり、連結の数値につきましても、単体の修正にあわせて修正するものであります。

以 上